経営課題1 【安全と安心を未来につなぐまち】

地域団体、関係機関などと連携し、災害や犯罪・交通事故など区民の生活に影響を与えるさまざまなリスクに対処する仕組みをつくり、総合的な危機管理機能を拡充します。

【主なSDGsゴール】

めざす成果及び戦略　1－1 【誰もが安心できる災害に強いまちづくりの推進】

【めざす状態】

地域住民の防災意識の向上が図られ、日ごろの備えができている状態

【中期的な取組の方向性】

区民一人ひとりが家庭内備蓄など日ごろの備えに加え、コロナウイルス感染症など環境の変化に応じた避難の方法など啓発を行い、地域特性に応じた地域の自主的な防災の取組みを確実に実施できるよう支援するとともに、若年者層への意識啓発の取組みなどを着実に実施します。また、SNSの活用等新たな情報伝達手段の拡充を図り、災害に強いまちづくりを推進します。

【アウトカム指標】

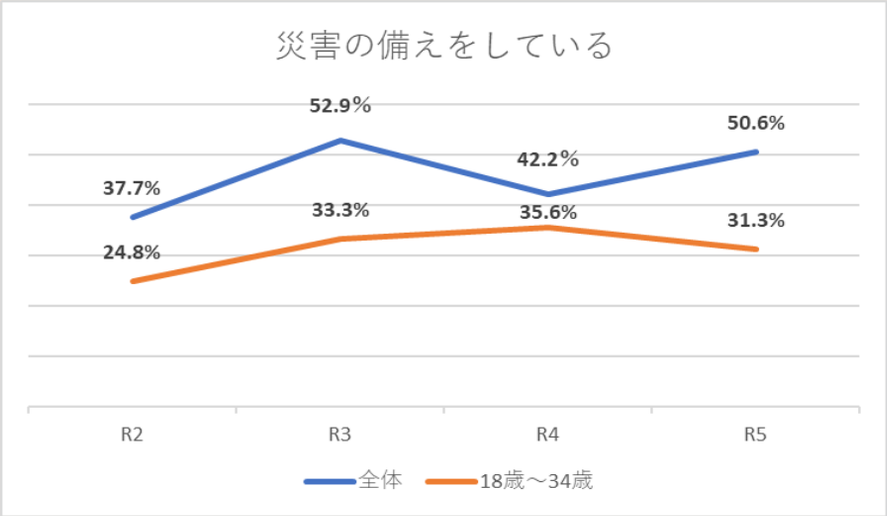
区民アンケートで、災害に備えて、日ごろの備えができていると思うと回答した割合：60%以上

令和4年度		令和5年度		令和6年度	
42.2%	－	50.6%	－		

○：目標達成　－：目標未達成

【現状】

・「災害に備えて日ごろの備えができていると思う割合」が約半数にとどまっている。
・災害時には、感染症対策や女性が安心して避難所生活ができる視点などを踏まえた避難所運営や避難方法が求められている。
・地域の防災活動は活発に行われているものの、20代までの地域住民の参加が少ない傾向にある。
・各取組みを実施することで災害に対する日ごろの備えになっていると感じる地域防災役員の割合は5年度も88.3%と高い。



【課題】

・日ごろの備えの重要性やマンション等を中心にした新たな避難方法（在宅避難等）や速やかな避難が困難な方の個別避難計画の必要性などを周知徹底していく必要があります。
・災害直後の地域共助による救助対応に不可欠である正確な災害情報の共有体制や救助ツールの充実を進める必要があります。
・感染症対策や女性の視点を踏まえた避難所開設や運営方法など、地域の防災力向上のために継続的に訓練や研修を積み重ねていく必要があります。
・将来の自主防災組織の新たな担い手となるべき人材の育成に向けて、終日区内にいる中学生等若年層への防災に関する知識やスキルの向上を図る取組みを充実していく必要があります。

具体的取組1－1－1 【区民の防災力向上】

我が家の防災プランnavi

あべの防災フェアパネルディスカッション（1月）

〈参考〉区政会議等意見
SNSを活用した防災情報の発信を強めていくことが大切である。

具体的取組

概要	4決算額	1,726,000 円	5予算額	3,268,000 円	6予算額	432,000 円

・区民一人ひとりが家庭内備蓄など日ごろの備えにより可能となる在宅避難など、避難の方法や災害への備えについて家族で話し合えるきっかけづくりとなるようホームページや広報紙、「我が家の防災プランnavi」などを活用して情報発信を行うほか、増加するマンションでの防災計画の必要性などについてマンション防災計画作成リーフレットを活用した出前講座等で周知を進めます。

主な取組	5年度実績	6年度実績
区のホームページや区広報紙等で周知：年2回以上	2回	
「我が家の防災プランnavi」の活用（出前講座、イベント等での配付）10回以上	16回	
マンションの防災対策についての啓発、勉強会や防災計画策定に向けた取組み支援：年3回以上	4回	
出前講座等防災研修の実施：年5回以上	13回	
防災フェアの開催：年1回	1回	
防災週間での啓発：年1回	1回	
防災の取り組みに関するSNSでの発信：随時	―	

プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）	プロセス（過程）指標の達成状況					
	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
区民アンケートで、災害時に対する日ごろの備えについて家族で話し合っていると回答した割合：50%以上	49.6%	―	54.3%	○		

○：目標達成　―：目標未達成

具体的取組1－1－2 【地域の防災力向上】

避難所開設運営訓練（6月　阪南地域）

まちなか訓練（4年度　常盤地域）

〈参考〉区政会議等意見
・災害発生時のいろいろな情報をやり取りするツールを複数用意しておくべきである。
・救助に活用する資機材などの配備を充実していくべきである。

具体的取組

概要	4決算額	3,234,000 円	5予算額	3,184,000 円	6予算額	8,880,000 円

・まちなか訓練や避難所開設訓練を中心とした地域での自主防災活動の取り組みを支援します。
・災害直後の通信体制の強化など、自主防災組織との情報共有強化に取り組みます。

主な取組	5年度実績	6年度実績
まちなか訓練の支援：全10地域	10地域	
防災関係会議の開催：年2回以上	2回	
避難所開設・運営研修・訓練を支援：全10地域	9地域	
地域防災リーダー研修の実施：年1回以上	1回	
IP無線の導入とIP無線を活用した通信訓練の取組：年2回以上	―	
救助用資機材の配備拡充：各地域1か所	―	
個別避難計画の全地域事業完了（以後随時更新）：10地域	全地域着手	

プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）	プロセス（過程）指標の達成状況					
	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
・区役所の取り組みが地域防災力向上の効果的支援となっていると感じる地域防災役員の割合：80%以上（R5年度～）			88.3%	○		

○：目標達成　―：目標未達成

具体的取組１－１－３	【若年者層の防災力向上】

ジュニアリーダー訓練（7月）

中学校研修（5月　昭和中）

〈参考〉区政会議等意見
防災ジュニアリーダーがまだ少ないと感じる。地域も募集に参加するなどして意識のある中学生を増やしていくべきである。

具体的取組

概要	4決算額	102,000 円	5予算額	448,000 円	6予算額	60,000 円

・日中の災害を想定し、中学生等の若年者層への意識啓発や防災ジュニアリーダーの育成など防災力向上の取組を進めます。

主な取組	5年度実績	6年度実績
区内の小・中学校研修の実施：10校以上	13校	
防災ジュニアリーダー研修の実施：年1回以上	2回	
防災ジュニアリーダーの周知と加入者拡大の取り組み：5回以上	―	

プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）	プロセス（過程）指標の達成状況					
	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
・防災教育を受けた生徒のうち、「災害に対する日頃の備えについて、家族で話し合おう」と思った割合：80%以上	91.2%	○	95.6%	○		

○：目標達成　―：目標未達成

戦略１－１の自己評価	改善策
課題	

めざす成果及び戦略　１－２【みんなで犯罪や交通事故を防ぐまちづくりの推進】

【めざす状態】

区民が区内の安全性が高まったと感じられる状態

【中期的な取組の方向性】

地域や警察等関係機関と連携し、出前講座の実施や各種の広報媒体を使った啓発など、区民の安全を守る取組を進めるとともに、時節、対象に応じた啓発を行います。

【アウトカム指標】

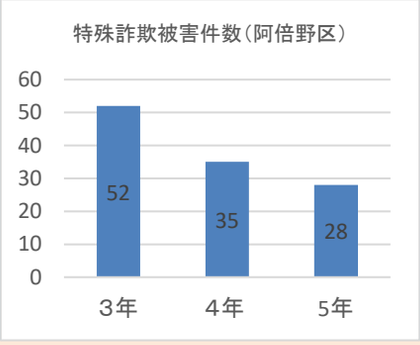
区民アンケートで、区役所が警察等と連携して行う防犯・交通安全の各種取組を総合的にみて、街頭犯罪抑止や交通事故防止に役立っていると感じると回答した割合：80 %以上

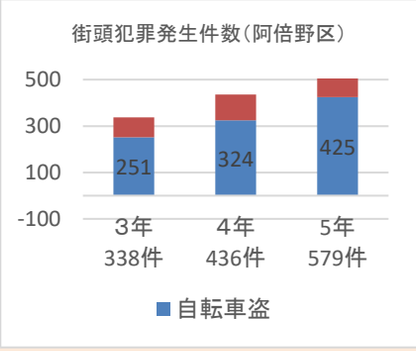
令和4年度		令和5年度		令和6年度	
74.8%	－	75.2%	－		

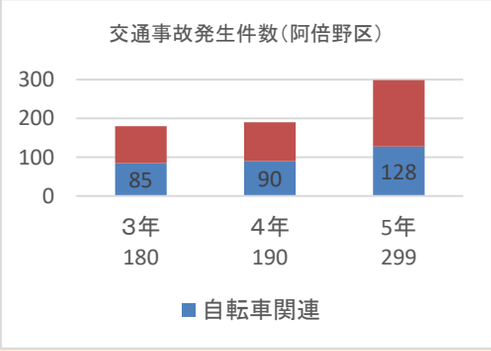
○：目標達成　　－：目標未達成

【現状】

・特殊詐欺被害については、減少傾向ではありますが、手口が多様化している状況です。
・街頭犯罪発生件数は、前年と比べ増加傾向です。また、自転車盗の占める割合が依然高い状況です。
・区内の交通事故発生件数のうち、自転車関連事故件数の割合は前年と比べ減少傾向ですが、全交通事故発生件数は増加しており、依然注意が必要である。
・区内各駅における自転車撤去台数については、前年度に比べ増加傾向です。







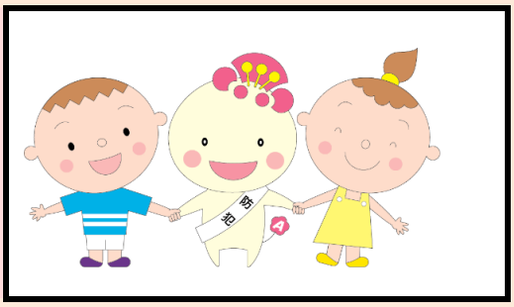
【課題】

・街頭犯罪や特殊詐欺事案の発生状況をふまえ、地域の防犯意識の向上が求められている。
・自転車関連事故の発生状況等をふまえ、交通ルールの遵守・正しい交通マナーの実践・ヘルメット着用の啓発等を行う必要があります。
・自転車運転中のながらスマホや飲酒運転等に関する啓発を行う必要があります。
・安全な歩行空間の確保のため、放置自転車の減少に向け、地域とともに啓発活動等を継続的に実施する必要があります。

具体的取組１－２－１ 【防犯に関する取組み】

学童保育での防犯教室

地域会館での防犯出前講座



具体的取組

概要	4決算額	534,000 円	5予算額	955,000 円	6予算額	1,238,000 円

・地域安全対策職員による地域巡回、高齢者が特殊詐欺被害にあわないための防犯出前講座、園児や児童が被害にあわないための紙芝居等による啓発、防犯教室、みまもり活動を行います。
・各種イベントにおける「こども110番の家」の啓発・募集や、小学校入学説明会にて啓発チラシの配布を行います。

主な取組	5年度実績	6年度実績
区役所での職員によるひったくり防止カバーとりつけキャンペーン：12回	12回	
各地域でのひったくり防止カバーとりつけキャンペーンへの参加：10回	12回	
地域みまもり隊による地域住民・学校園を対象にした出前講座：10回	19回	
地域みまもり隊による通学路巡回・防犯パトロール：通年	通年	
「こども110番の家」の周知・啓発：4回	1回	
「こども110番の家」の名簿整備や旗等の更新	通年	
広報紙やSNSを活用した防犯啓発の実施：通年	通年	

プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）	プロセス（過程）指標の達成状況					
	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
区民アンケートで、警察等と連携して行う防犯啓発活動等の取組が、区内の街頭犯罪抑止に役立っていると感じると回答した割合：70%以上	76.8%	○	74.5%	○		

○：目標達成　－：目標未達成

具体的取組１－２－２ 【交通安全に関する取組み】

小学校での交通安全教室

幼稚園での交通安全教室

〈参考〉区政会議等意見
・電動キックボードの利用が緩和され、交通事故多発に繋がる可能性がある。
・自転車等利用者に対し交通ルールについて、のぼりなどで重要性を強調することを提案する。
・事故多発MAPをホームページや広報紙に掲載してはどうか。

具体的取組

概要	4決算額	76,000 円	5予算額	723,000 円	6予算額	806,000 円

・園児・児童を対象とした交通安全教室、地域住民を対象とした交通安全出前講座を行います。
・急速に利用が進む電動キックボードや自転車利用者に対して、ながらスマホ禁止やヘルメット着用などルールの遵守・マナー向上に向けて、各キャンペーン等にてのぼり等を用いて啓発を実施します。

主な取組	5年度実績	6年度実績
「交通事故をなくす運動」阿倍野区推進本部による推進大会の実施：春秋2回	2回	
阿倍野区身体障がい者団体協議会との街頭啓発活動の実施：2回	2回	
園児・児童等を対象とした交通安全教室の実施：22回	24回	
地域住民を対象にした交通安全出前講座の実施：10回	7回	
「交通安全期間」等において啓発活動の実施：12回	10回	
乳幼児健診にて保護者を対象にした自転車マナー等の啓発の実施：8回	17回	
「通学路安全対策会議」の実施：2回	2回	
広報紙やSNSを活用した啓発の実施：通年	通年	

プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）	プロセス（過程）指標の達成状況					
	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
区民アンケートで、警察等と連携して実施する交通安全教育等の取組により、区民の交通ルール・マナーに関する意識及び理解が向上したと感じると回答した割合：70%以上	70.4%	○	70.6%	○		

○：目標達成　－：目標未達成

具体的取組１－２－３	【放置自転車に関する取組み】

自転車適正化啓発の様子

放置自転車対策児童絵画壁面シート

〈参考〉区政会議等意見
駅周辺の駐輪問題の解消に向けて、近隣なら自転車に乗らず、歩くことで健康増進にもつながるといった啓発をしてはどうか。

具体的取組

概要	4決算額	22,000 円	5予算額	9,056,000 円	6予算額	3,067,000 円

・昭和町駅（文の里駅含む）及び西田辺駅検討委員会、ゆめまちロードOSAKAあべの、他区と協働で安全な歩行空間の確保のため放置自転車の減少に向けた啓発活動を実施します。

主な取組	5年度実績	6年度実績
ゆめまちロードOSAKAあべの官民協働会議の開催及び啓発活動の実施：各2回	2回	
Osaka Metro昭和町駅（文の里駅含む）・西田辺駅周辺における啓発活動の実施：10回以上	9回	
Osaka Metro昭和町駅（文の里駅含む）・西田辺駅周辺自転車適正化検討委員会の開催：2回	2回	
他区との合同啓発活動の実施随時	-	
広報紙やSNSを活用した啓発の実施：通年	通年	
自転車駐車場の増設（西田辺駅）	天王寺・阿部野駅増設	

プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）	プロセス（過程）指標の達成状況					
	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
区民アンケートで、区内の駅周辺（放置自転車禁止区域内）における駐輪場の場所を知っていると回答した割合：80%以上	85.4%	○	88.7%	○		

○：目標達成　ー：目標未達成

戦略１－２の自己評価	改善策
課題	